

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013708 - 0029

作業	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】								
主	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他			2018/2/13	2018/2/13	2018/2/13			
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員	TEL					
管	元請会社	担当者			TEL					
	線量測定年月日	2017/11/14	測定者	測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-72			
G	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
			①	②	③					
	1	紙	A	01	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2	ゴム	C	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0458
				2018/2/13
調整後保管日時		2018年2月26日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	D			伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05

② 状態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012321 - 0004

作	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	12:00	承認	審査	作成			
	作業件名	通用門 <sup>①</sup> エリア(構外西門周辺)における残置物の運搬委託								
業	発生場所	1F構外			2018/2/20	2018/2/20	2018/2/20			
	作業主管G	廃棄物計画グループ		監理員	TEL					
主	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/9	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-120			
G	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
			①	②	③					
	1	不燃物その他	B	10	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
	2	車両コンテナ	B	10	D	A	40 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>				
入	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0470
				2018/2/21
調整後保管日時		2018年2月26日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h								
	1	1	不燃物その他 ③	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/26 10:25	6 m <sup>2</sup>			1
	2	1	車両コンテナ ⑩	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/26 11:45	40 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-		
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-		
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-			
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-			
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-			
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012321 - 0004

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	02	—	0471
				2018/2/21
調整後保管日時		2018年2月27日		12:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月27日		(火)	12:00		承認	審査	作成	
	作業件名	通用門設置エリア(構外西門周辺)における残置物の運搬委託								
	発生場所	1F構外			2018/2/20	2018/2/20	2018/2/20			
	作業主管G	廃棄物計画グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/2/9	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-120	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率
			①	②	③					
	1	不燃物その他	B	10	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
	2	車両コンテナ	B	10	D	A	15 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h						
	1	1	不燃物その他 ⑩	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/27 11:35	4 m <sup>2</sup>			1
	2	1	車両コンテナ ⑩	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/27 11:50	15 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—			
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—			
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—			
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6012321 - 0004

作業	保管希望日時	2018年2月28日	(水)	12:00	承認	審査	作成				
	作業件名	通用門設置エリア(構外西門周辺)における残置物の運搬委託									
主	発生場所	1F構外			2018/2/20	2018/2/20	2018/2/20				
	作業主管G	廃棄物計画グループ			監理員	TEL					
管	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/9	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-120				
G	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	
			①	②	③						
	1	不燃物その他	B	10	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	2	コンクリートガラ(ウエイト)	B	10	D	A	4 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>					
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0472
				2018/2/21
調整後保管日時		2018年2月28日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICWBL	F1-ICWBL-55
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta$ + $\gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h								
	1	1	不燃物その他 ⑩	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h			エリアC	2018/2/28 10:10	6 m <sup>2</sup>			1
	2	1	コンクリートガラ(ウエイト) ①	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h			エリアC	2018/2/28 11:35	3 m <sup>2</sup>			2
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-		
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-		
				01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-		
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-			
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$  +  $\gamma$ 線量率欄に「 $\beta$  +  $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta$  +  $\gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013802 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	02	—	0475
				2018/2/14
調整後保管日時		2018年2月26日		9:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月26日		(月)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」								
	発生場所	1~4号機周辺			2018/2/14	2018/2/14	2018/2/13			
	作業主管G	地下水調査グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/2/4	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-356		
	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	3 m <sup>2</sup>	50 $\mu$ Sv/h	50 $\mu$ Sv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
			D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
	②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013802 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	11:30	承認	審査	作成													
	作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」																		
	発生場所	1~4号機周辺			2018/2/14	2018/2/14	2018/2/13													
	作業主管G	地下水調査グループ		監理員		TEL														
	元請会社			担当者		TEL														
線量測定年月日	2018/2/4	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-356													
No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率											
		①	②	③																
		1	コンクリートガラ	B						02	D	B	2	m <sup>3</sup>	50	μSv/h	50	μSv/h	無	
		2												m <sup>3</sup>						
		3												m <sup>3</sup>						
		4												m <sup>3</sup>						
5							m <sup>3</sup>													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0476
				2018/2/14
調整後保管日時		2018年2月26日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.				
													1	1	コンクリートガラ①	5
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	D			伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05

② 状態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013802 - 0001

作業	保管希望日時	2018年2月27日	(火)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」								
主	発生場所	1~4号機周辺			2018/2/14	2018/2/14	2018/2/13			
	作業主管G	地下水調査グループ		監理員	TEL					
管	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/5	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-356			
G	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
			①	②	③					
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	3 m <sup>3</sup>	50 μSv/h	50 μSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	02	—	0477
				2018/2/14
調整後保管日時		2018年2月27日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	D			伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態		D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013802 - 0001

作業	保管希望日時	2018年2月27日	(火)	12:00	承認	審査	作成			
	作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」								
主	発生場所	1~4号機周辺			2018/2/14	2018/2/14	2018/2/13			
	作業主管G	地下水調査グループ		監理員	TEL					
管	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/5	測定者	測定器名 ICW		管理番号	F1-ICW-356			
G	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
			①	②	③					
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	2 m <sup>3</sup>	50 μSv/h	50 μSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0478
				2018/2/14
調整後保管日時		2018年2月27日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-	
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013802 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0479
				2018/2/14
調整後保管日時		2018年2月28日		9:00
【保管時の指示事項等】				

作 業 主	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」								
主 管	発生場所	1~4号機周辺			2018/2/14	2018/2/14	2018/2/13			
	作業主管G	地下水調査グループ		監理員		TEL				
G 記 入 欄	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/2/6	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-356		
メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	3 m <sup>3</sup>	50 μSv/h	50 μSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>				

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5	μSv/h	5	μSv/h		エリアC	2018/2/28 8:55	3 m <sup>3</sup>			1
											m <sup>3</sup>			
											m <sup>3</sup>			
											m <sup>3</sup>			
											m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
				01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013802 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0480
				2018/2/14
調整後保管日時		2018年2月28日		12:00
【保管時の指示事項等】				

作業主	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	12:00	承認	審査	作成		
	作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」								
	発生場所	1~4号機周辺			2018/2/14	2018/2/14	2018/2/13			
	作業主管G	地下水調査グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
管	線量測定年月日	2018/2/6	測定者		測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-356	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③						
	1	アスファルトガラ			B 09 D B	2 m <sup>2</sup>	50 μSv/h	50 μSv/h	無	
	2					m <sup>2</sup>				
3					m <sup>2</sup>					
4					m <sup>2</sup>					
5					m <sup>2</sup>					

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μSv/h	5	μSv/h							
	1	1	アスファルトガラ①	5	μSv/h	5	μSv/h		エリアC	2018/2/28 11:30	2 m <sup>2</sup>			1
											m <sup>2</sup>			
											m <sup>2</sup>			
											m <sup>2</sup>			
											m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
			06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

作 業 主 管 G 記 入 欄 × モ	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	9:00	承認	審査	作成								
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事													
	発生場所	H6タンクエリア			2018/2/14	2018/2/14	2018/2/14								
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL									
	元請会社				担当者	TEL									
線量測定年月日	2018/2/1	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14								
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率						
		①	②	③											
		1	紙・ウエス類	A 01						W B	1 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
		2	プラスチック・ホリ・ビニール類	A 02						D B	2 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
		3	可燃その他	A 04						D B	2 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
		4	金属ガラ	B 01						D B	8 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
5	不燃その他	B 10	D B	3 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無								
トラック3台(可燃1台, 不燃2台)															

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0483
				2018/2/15
調整後保管日時		2018年2月26日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 × モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013502 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	13:00	承認	審査	作成														
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託																			
	発生場所	1・2号機超高压開閉所 東側			2018/2/22	2018/2/22	2018/2/22														
	作業主管 G	工事基盤整備グループ		監理員	TEL																
	元請会社			担当者	TEL																
線量測定年月日	2018/2/14	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	ICWBL-80													
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率												
		①	②	③																	
		1	金属ガラ	B						01	D	A	12	m <sup>2</sup>	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	β有	0.03	mSv/h
		2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A						02	D	A	6	m <sup>2</sup>	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	β有	0.03	mSv/h
		3												m <sup>2</sup>							
		4												m <sup>2</sup>							
5							m <sup>2</sup>														
メモ	※6m3コンテナ3基(借用済)を運搬します。運搬時間は 瓦礫担当者様と調整済み。																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0484
				2018/2/22
調整後保管日時		2018年2月26日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h						
	1	1	6m3コンテナ	5	μ Sv/h	15	μ Sv/h	20	μ Sv/h	エリアX	2018/2/26 10:35	6	m <sup>2</sup>	ZK-00899	1
	1	2	6m3コンテナ	5	μ Sv/h	15	μ Sv/h	25	μ Sv/h	エリアX	2018/2/26 10:35	6	m <sup>2</sup>	ZK-00901	1
													m <sup>2</sup>		
													m <sup>2</sup>		
													m <sup>2</sup>		

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	上記の保管物は6m3コンテナ2基に分けて収納														
----	------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013502 - 0001

作	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	13:00	承認	審査	作成				
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託									
業	発生場所	水素トレーラーエリア			2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15				
	作業主管G	工事基盤整備グループ		監理員	TEL						
主	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/14	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 ICWBL-80				
G	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 霧囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
			①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	48 m <sup>3</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	β有	0.04 mSv/h
	2						m <sup>3</sup>				
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>					
メ	※内容物: 砕石 6m3コンテナ8基(借用済)を運搬します。運搬時間は 瓦礫担当者様と調整済み。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0485
				2018/2/15
調整後保管日時		2018年2月26日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 霧囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-	
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013502 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0486
				2018/2/15
調整後保管日時		2018年2月26日		13:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月26日		(月)	13:00	承認	審査	作成		
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託								
	発生場所	1・2号機超高压開閉所 東側			2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15			
	作業主管G	工事基盤整備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/14	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	ICWBL-80		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属ガラ	① B 01	② D	③ A	12 m <sup>3</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2					m <sup>3</sup>				
	3					m <sup>3</sup>				
4					m <sup>3</sup>					
5					m <sup>3</sup>					
※フックロール運搬でピストンします。運搬時間は 瓦礫担当者様と調整済み。										

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	D			伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05
		②	状態		D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013502 - 0001

作	保管希望日時	2018年2月27日	(火)	13:00	承認	審査	作成				
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託									
業	発生場所	1・2号機超高圧開閉所 東側			2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15				
	作業主管G	工事基盤整備グループ		監理員		TEL					
主	元請会社		担当者		TEL						
	線量測定年月日	2018/2/14	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	ICWBL-80			
管	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
			①	②	③						
記	1	金属ガラ	B	01	D	A	12 m <sup>2</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	β有	0.03 mSv/h
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				
メ	※6m3コンテナ2基(借用済)を運搬します。運搬時間は 瓦礫担当者様と調整済み。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0487
				2018/2/15
調整後保管日時		2018年2月27日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h						
	1	1	金属ガラ	6	μSv/h	11	μSv/h	11	μSv/h	エリアX	2018/2/27 12:15	6 m <sup>2</sup>		ZK-00957	1
	1	2	金属ガラ	6	μSv/h	150	μSv/h	150	μSv/h	エリアX	2018/2/27 12:15	6 m <sup>2</sup>		ZK-00977	1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ 上記の保管物は6m3コンテナ2基に分けて収納

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-		
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-		
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-			
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013502 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月27日	(火)	13:00	承認	審査	作成										
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託															
	発生場所	水素トレーラーエリア			2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15										
	作業主管 G	工事基盤整備グループ		監理員	TEL												
	元請会社			担当者	TEL												
線量測定年月日	2018/2/14	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	ICWBL-80									
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率								
		①	②	③													
		1	コンクリートガラ	B						02	D	A	48 m <sup>2</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	β有	0.04 mSv/h
		2											m <sup>2</sup>				
		3											m <sup>2</sup>				
		4											m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>											
※	内容物: 碎石 6m3コンテナ8基(借用済)を運搬します。運搬時間は 瓦礫担当者様と調整済み。																

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0488
				2018/2/15
調整後保管日時		2018年2月27日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				6	μ Sv/h	9	μ Sv/h	12	μ Sv/h						
	1	1	コンクリートガラ	6	μ Sv/h	9	μ Sv/h	12	μ Sv/h	エリアX	2018/2/27 12:00	0.2 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※ 物量が予定より非常に少なかったため、コンテナには収納しないで搬入。

※ カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-	
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013502 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月27日	(火)	13:00	承認	審査	作成			
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託								
主 管	発生場所	1・2号機超高压開閉所 東側			2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15			
	作業主管G	工事基盤整備グループ		監理員	TEL					
管	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/14	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 ICWBL-80			
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	A	12 m <sup>3</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>				
メモ	※フックロール運搬でピストンします。運搬時間は 瓦礫担当者様と調整済み。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0489
				2018/2/15
調整後保管日時		2018年2月27日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013202 - 0001

作業	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	#1カバー工事(瓦礫撤去工事)								
主	発生場所	1号機周辺ヤード			2018/2/14	2018/2/14	2018/2/14			
	作業主管G	1号機建築グループ		監理員		TEL				
管	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/2/9	測定者		測定器名	電離箱	管理番号 F1-ICWBL-4			
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	難燃物：ゴム類	C	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2	難燃物：塩化ビニール類(サニホース)	B	05	D	B	0.05 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	3	難燃物：難燃物その他(エフレックス類)	C	04	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0492
				2018/2/15
調整後保管日時		2018年2月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				①	②	①	②	①	②						
	1	1	難燃物：ゴム類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/26 8:15	0.3 m <sup>2</sup>			1
	2	1	難燃物：塩化ビニール類(サニホース)	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/26 8:15	0.05 m <sup>2</sup>			2
	3	1	難燃物：難燃物その他(エフレックス類)	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/26 8:15	0.3 m <sup>2</sup>			2
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-		
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-		
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-			
			D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-	
	②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0028

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	12:30	承認	審査	作成				
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	G6、H6北タンクエリア			2018/2/14	2018/2/14	2018/2/8				
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
線量測定年月日	2018/2/1	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-130				
G 記 入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
			①	②	③						
	1	難燃物(エフレックス金属なし)	C	04	D	B	8 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2						m <sup>3</sup>				
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>					
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0495
				2018/2/15
調整後保管日時	2018年2月26日		12:30	
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物(エフレックス金属なし)(→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/26 12:30	8 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	D			伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013803 - 0015

作業	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
主	発生場所	Bエリア			2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
管	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者		測定器名	βγ用電離箱	管理番号 F1-ICWBL-133			
G	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	鉄筋コンクリートガラ	B	02	D	A	10 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
入	5					m <sup>2</sup>				
	メモ	5. 5×2台=10m3								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0496
				2018/2/15
調整後保管日時		2018年2月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h						
	1	1	鉄筋コンクリートガラ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/26 8:25	5 m <sup>2</sup>			1
	1	2	鉄筋コンクリートガラ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/26 8:25	5 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	D			伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05
		②	状態		D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013803 - 0015

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	9:00	承認	審査	作成													
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事																		
	発生場所	Bエリア			2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15													
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL															
	元請会社			担当者	TEL															
線量測定年月日	2018/2/13	測定者			測定器名	βγ用電離箱	管理番号	F1-ICWBL-133												
No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率											
		①	②	③																
		1	鉄筋コンクリートガラ	B						02	D	A	10	m <sup>2</sup>	0.008	mSv/h	0.008	mSv/h	無	
		2												m <sup>2</sup>						
		3												m <sup>2</sup>						
		4												m <sup>2</sup>						
5							m <sup>2</sup>													
5. 5 × 2台=10m3																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0497
				2018/2/15
調整後保管日時		2018年2月26日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				①	②	③	④	⑤	⑥						
	1	1	鉄筋コンクリートガラ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/26 9:05	5	m <sup>2</sup>		1
	1	2	鉄筋コンクリートガラ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/26 9:10	5	m <sup>2</sup>		1
													m <sup>2</sup>		
													m <sup>2</sup>		
													m <sup>2</sup>		

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-	
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-	
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作 業 主	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	11:30	承認	審査	作成														
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事																			
管 理	発生場所	Bエリア			2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15														
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL																
G 記 入 欄	元請会社				担当者	TEL															
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者		測定器名	βγ用電離箱	管理番号 F1-ICWBL-133														
メ モ	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率											
			①	②	③																
			1	鉄筋コンクリートガラ	B						02	D	A	10	m <sup>3</sup>	0.008	mSv/h	0.008	mSv/h	無	
			2											m <sup>3</sup>							
			3											m <sup>3</sup>							
			4											m <sup>3</sup>							
5						m <sup>3</sup>															
5. 5×2台=10m3																					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	02	—	0498
				2018/2/15
調整後保管日時		2018年2月26日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鉄筋コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/26 11:40	5 m <sup>3</sup>			1
	1	2	鉄筋コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/26 11:40	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	12:30	承認	審査	作成			
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
主 管	発生場所	Bエリア			2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員						
管	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者			測定器名	βγ用電離箱			
G	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率
			①	②	③					
入 欄	1	鉄筋コンクリートガラ	B	02	D	A	10 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
	5						m <sup>2</sup>			
メ モ	5. 5 × 2台=10m3									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0499
				2018/2/15
調整後保管日時		2018年2月26日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鉄筋コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/26 12:20	5 m <sup>2</sup>			1
	1	2	鉄筋コンクリートガラ①	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/2/26 12:20	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作 業 主	保管希望日時	2018年2月27日	(火)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
管	発生場所	Bエリア			2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
G	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者		測定器名	βγ用電離箱	管理番号 F1-ICWBL-133			
記 入 欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	鉄筋コンクリートガラ	B	02	D	A	10 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
メ モ	5. 5×2台=10m <sup>3</sup>									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0500
				2018/2/15
調整後保管日時		2018年2月27日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	2	鉄筋コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/27 8:10	5 m <sup>2</sup>				1
								m <sup>2</sup>				
								m <sup>2</sup>				
								m <sup>2</sup>				

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ

※カ テ ゴ リ	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
			06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013803 - 0015

作業	保管希望日時	2018年2月27日	(火)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
主	発生場所	Bエリア			2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
管	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者		測定器名	βγ用電離箱	管理番号 F1-ICWBL-133			
G	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
			①	②	③					
	1	鉄筋コンクリートガラ	B	02	D	A	10 m <sup>3</sup>	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>				
メモ	5.5×2台=10m3									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0501
				2018/2/15
調整後保管日時		2018年2月27日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				①	②	③	④	⑤	⑥						
	1	1	鉄筋コンクリートガラ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/27 9:00	5 m <sup>3</sup>			1
	1	2	鉄筋コンクリートガラ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/27 9:00	5 m <sup>3</sup>			1
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-		
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-		
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-			
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013803 - 0015

作 業 主 管 G	保管希望日時	2018年2月27日	(火)	10:00	承認	審査	作成				
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
主 管	発生場所	Bエリア			2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15				
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL						
管	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者		測定器名	βγ用電離箱					
G	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			β・α 汚染の 有無				
記 入 欄	1	鉄筋コンクリートガラ	B	02	D	A	10 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無	β+γ 線量率
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4							m <sup>2</sup>			
	5							m <sup>2</sup>			
× モ	5. 5×2台=10m3										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0502
				2018/2/15
調整後保管日時		2018年2月27日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μSv/h	6	μSv/h								
	1	1	鉄筋コンクリートガラ①	5	μSv/h	6	μSv/h			エリアC	2018/2/27 9:35	5 m <sup>2</sup>			1
	1	2	鉄筋コンクリートガラ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/27 9:35	5 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

× モ	
--------	--

※ カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-	
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月27日	(火)	12:00	承認	審査	作成			
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
主 管	発生場所	Bエリア			2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
管	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者		測定器名	βγ用電離箱	管理番号 F1-ICWBL-133			
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	鉄筋コンクリートガラ	B	02	D	A	10 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>				
メ モ	5. 5×2台=10m3									

受付番号			
廃2018	—	02	— 0503
調整後保管日時			2018年2月27日
			12:00
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				①	②	③	④	⑤	⑥						
	1	1	鉄筋コンクリートガラ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/27 12:00	5 m <sup>2</sup>			1
	1	2	鉄筋コンクリートガラ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/27 12:00	5 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ

※カ テ ゴ リ	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
			D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013803 - 0015

固体廃棄物管理G記入欄		受付
受付番号		
廃2018	— 02 —	0504
調整後保管日時		2018年2月28日
2018/2/15		8:00
【保管時の指示事項等】		

作業主	保管希望日時	2018年2月28日	(水)	8:00	承認	審査	作成				
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	Bエリア			2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15				
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL						
	元請会社	担当者		TEL							
G	線量測定年月日	2018/2/13	測定者	測定器名		βγ用電離箱	管理番号	F1-ICWBL-133			
	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
記入欄	1	鉄筋コンクリートガラ	B	02	D	A	10 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				
メモ	5. 5×2台=10m3										

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μSv/h	5	μSv/h								
	1	1	鉄筋コンクリートガラ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/28 8:50	5 m <sup>2</sup>			1
	1	2	鉄筋コンクリートガラ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/28 8:50	5 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③		履歴						
			A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」										

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013803 - 0015

固体廃棄物管理G記入欄		受付
受付番号		
廃2018	— 02 —	0505
		2018/2/15
調整後保管日時	2018年2月28日	9:00
【保管時の指示事項等】		

作業主管理	保管希望日時	2018年2月28日	(水)	9:00	承認	審査	作成				
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	Bエリア			2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15				
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
G記入欄	線量測定年月日	2018/2/13	測定者		測定器名	βγ用電離箱	管理番号	F1-ICWBL-133			
	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
			①	②	③						
	1	鉄筋コンクリートガラ	B	02	D	A	10 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>					
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					
メモ	5. 5×2台=10m <sup>3</sup>										

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				①	②	③	④	⑤	⑥						
	1	1	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	6	μSv/h			エリアC	2018/2/28 9:40	5 m <sup>2</sup>			1
	1	2	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/28 9:40	5 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013803 - 0015

固体廃棄物管理G記入欄		受付
受付番号		
廃2018	02	0506
2018/2/15		
調整後保管日時	2018年2月28日	10:00
【保管時の指示事項等】		

作業	保管希望日時	2018年2月28日	(水)	10:00	承認	審査	作成				
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
主	発生場所	Bエリア			2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15				
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL						
管	元請会社	担当者			TEL						
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者	測定器名	βγ用電離箱	管理番号	F1-ICWBL-133				
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率
		①	②	③							
	1	鉄筋コンクリートガラ	B	02	D	A	10 m <sup>3</sup>	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
	2						m <sup>3</sup>				
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
メ	5. 5 × 2台 = 10m <sup>3</sup>										

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μSv/h	5	μSv/h								
	1	1	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/28 10:30	5 m <sup>3</sup>			1
	1	2	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/28 10:30	5 m <sup>3</sup>			1
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ

モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③		履歴						
			A:「1F構内にあった物」; B:「工事のために持ち込まれた物」										

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

固体廃棄物管理G記入欄		受付
受付番号		
廃2018	— 02 —	0507
2018/2/15		
調整後保管日時		2018年2月28日 12:30
【保管時の指示事項等】		
時間調整をしています。よろしくお願ひします。		

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月28日 (水) 12:00		承認	審査	作成				
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	Bエリア			2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
線量測定年月日	2018/2/13	測定者		測定器名	βγ用電離箱					
				管理番号	F1-ICWBL-133					
メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	鉄筋コンクリートガラ	B	02	D	A	10 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>				
5. 5 × 2台=10m <sup>3</sup>										

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1		鉄筋コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/28 12:30	5 m <sup>2</sup>		
1	2		鉄筋コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/28 12:30	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013202 - 0001

作 業 主	保管希望日時	2018年2月27日	(火)	8:30	承認	審査	作成				
	作業件名	#1カバー工事(瓦礫撤去工事)									
管 理	発生場所	1号機 北西ヤード			2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15				
	作業主管G	1号機建築グループ		監理員	TEL						
G 記 入 欄	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/2/7	測定者		測定器名	電離箱	管理番号 F1-ICWBL-4				
メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③							
	1	東電殿所有 6m3コンテナ:ZK-01250	B	03	D	B	4 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.08 mSv/h	$\beta$ 有	0.077 mSv/h
	2						m <sup>3</sup>				
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>					
① ZX-01250内容物:ワイヤー・鋼材・機器類・番線・金属ガラ・コンクリートガラ・腐植土、表面線量率は【機器類】の値を記載 ② 6m3コンテナの表面線量率 $\beta + \gamma = 0.005\text{mSv/h}$											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0509
				2018/2/15
調整後保管日時		2018年2月27日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	東電殿所有 6m3コンテナ:ZK-01250	8 $\mu\text{Sv/h}$	10 $\mu\text{Sv/h}$	10 $\mu\text{Sv/h}$	エリアX	2018/2/27 8:05	6 m <sup>3</sup>		ZK-01250	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-		
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-		
				01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-		
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-			
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月27日	(火)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	Bエリア			2018/2/19	2018/2/19	2018/2/19			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
線量測定年月日	2018/2/13	測定者			測定器名	βγ用電離箱	管理番号	F1-ICWBL-133		
G 記 入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率
			①	②	③					
	1	金属ガラ	B	01	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0516
				2018/2/19
調整後保管日時		2018年2月27日		8:00
【保管時の指示事項等】				
当日の状況によって 受入れを制限する場合があります。				

線量測定内容				
測定日	2018年2月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μSv/h	5	μSv/h								
	1	1	金属ガラ⑩	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/27 8:40	4 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0019

作 業 主	保管希望日時	2018年2月27日	(火)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	B南エリアエアータンク基礎他設置工事								
主	発生場所	Bエリア			2018/2/19	2018/2/19	2018/2/19			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
管	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者		測定器名	βγ用電離箱	管理番号 F1-ICWBL-133			
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0517
				2018/2/19
調整後保管日時	2018年2月27日		9:30	
【保管時の指示事項等】				
当日の状況によって 受入れを制限する場合があります。				

線量測定内容				
測定日	2018年2月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μSv/h	5	μSv/h								
	1	1	金属ガラ⑩	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/27 9:30	4 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	D			伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05
		②	状態		D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013803 - 0015

固体廃棄物管理G記入欄		受付
受付番号		
廃2018	—	02 — 0518
2018/2/19		
調整後保管日時	2018年2月28日	10:30
【保管時の指示事項等】		
当日の状況によって受入れを制限する場合があります。		

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月28日	(水)	10:30	承認	審査	作成				
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	Bエリア			2018/2/19	2018/2/19	2018/2/19				
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者	測定器名		βγ用電離箱	管理番号	F1-ICWBL-133			
	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	1	金属ガラ	B	01	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1		金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/28 10:45	4 m <sup>2</sup>		
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013706 - 0031

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	12:30	承認	審査	作成														
	作業件名	1F-2号機復水器滞留水移送業務委託																			
	発生場所	2・3号機 T/B建屋 オペフロエリア			2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15														
	作業主管G	地下水対策グループ		監理員	TEL																
	元請会社			担当者	TEL																
線量測定年月日	2018/2/5	測定者			測定器名	F1-ICWBL	管理番号	27													
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率												
		①	②	③																	
		1	難燃シート類	C						O2	W	B	2	m <sup>2</sup>	0.015	mSv/h	0.08	mSv/h	β有	1	mSv/h
		2	ポリ袋	A						O2	W	B	2	m <sup>2</sup>	0.015	mSv/h	0.4	mSv/h	β有	6	mSv/h
		3												m <sup>2</sup>							
		4												m <sup>2</sup>							
5							m <sup>2</sup>														
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0519
				2018/2/16
調整後保管日時		2018年2月26日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	mSv/h							
	1	1	難燃シート類	5	μSv/h	30	μSv/h	800	μSv/h	エリアX	2018/2/26 11:35	2	m <sup>2</sup>		1
	2	1	ポリ袋	5	μSv/h	200	μSv/h	1.5	mSv/h	エリアX	2018/2/26 11:35	2	m <sup>2</sup>		1
													m <sup>2</sup>		
													m <sup>2</sup>		
													m <sup>2</sup>		

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013706 - 0031

作業	保管希望日時	2018年2月27日	(火)	10:00	承認	審査	作成				
	作業件名	1F-2号機復水器滞留水移送業務委託									
主	発生場所	2・3号機 T/B建屋 オペフロエリア			2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15				
	作業主管G	地下水対策グループ		監理員	TEL						
管	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/2/6	測定者	測定器名	F1-ICWBL	管理番号	27				
G	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
			①	②	③						
	1	ホース類	C	O3	W	B	4 m <sup>2</sup>	0.015 mSv/h	0.8 mSv/h	β有	8 mSv/h
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>					
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0520
				2018/2/16
調整後保管日時	2018年2月27日		10:30	
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ホース類	5 μSv/h	400 μSv/h	2 mSv/h	エリアX	2018/2/27 9:50	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	D			伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05
		②	状態		D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013706 - 0031

作業	保管希望日時	2018年2月28日	(水)	10:00	承認	審査	作成				
	作業件名	1F-2号機復水器滞留水移送業務委託									
主	発生場所	2・3号機 T/B建屋 オペフロエリア			2018/2/15	2018/2/15	2018/2/15				
	作業主管G	地下水対策グループ		監理員	TEL						
管	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/2/8	測定者	測定器名	F1-ICWBL	管理番号	27				
G	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
			①	②	③						
	1	不燃物その他	B	10	W	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.015 mSv/h	0.07 mSv/h	β有	0.1 mSv/h
	2	難燃物その他	C	04	W	B	0.7 m <sup>2</sup>	0.015 mSv/h	0.8 mSv/h	β有	3.5 mSv/h
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
入	5					m <sup>2</sup>					
欄	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0521
				2018/2/16
調整後保管日時		2018年2月28日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μSv/h	70	μSv/h	300	μSv/h						
	1	1	不燃物その他	5	μSv/h	70	μSv/h	300	μSv/h	エリアX	2018/2/28 9:20	0.5	m <sup>2</sup>		1
	2	1	難燃物その他	5	μSv/h	100	μSv/h	1.5	mSv/h	エリアX	2018/2/28 9:20	0.7	m <sup>2</sup>		1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
				01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-	
			② 状態		D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0044

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月27日	(火)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	配管信頼性向上対策関連								
主 管 G	発生場所	Dエリア堰内			2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16			
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員	TEL					
管 G	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/6	測定者		測定器名	Naシンチレータ	管理番号 F1-SC-131			
記 入 欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	保温材	B	06	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.006 mSv/h	0.006 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>				
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	02	—	0522
				2018/2/16
調整後保管日時		2018年2月27日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材 ③	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/27 10:05	6 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—			
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—			
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—			
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0044

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	02	—	0523
				2018/2/16
調整後保管日時		2018年2月27日		11:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月27日		(火)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	配管信頼性向上対策関連								
	発生場所	D、G3北、J1エリア堰内						2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/6	測定者			測定器名	Naシンチレーター	管理番号	F1-SC-131	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率
			①	②	③					
	1	保温材	B	06	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.006 mSv/h	0.006 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材 ③	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアC	2018/2/27 11:25	6 m <sup>2</sup>			1
										m <sup>2</sup>			
										m <sup>2</sup>			
										m <sup>2</sup>			
										m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—			
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—			
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—			
		②	状 態		D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013708 - 0044

作業	保管希望日時	2018年2月27日	(火)	13:00	承認	審査	作成				
	作業件名	配管信頼性向上対策関連									
主	発生場所	H8エリア堰内			2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16				
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員	TEL						
管	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/2/6	測定者		測定器名	Naシンチレーター	管理番号	F1-SC-131			
G	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
			①	②	③						
	1	保温材	B	06	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.006 mSv/h	0.006 mSv/h	無	
	2	シリコン空容器	B	10	D	B	2 m <sup>2</sup>	0.006 mSv/h	0.006 mSv/h	無	
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>					
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0524
				2018/2/16
調整後保管日時		2018年2月27日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				①	②	③	④	⑤	⑥						
	1	1	保温材 ③	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/27 11:05	4 m <sup>2</sup>			1
	2	1	シリコン空容器 ③	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/27 11:05	1 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-	
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013704 - 0028

作業	保管希望日時	2018年2月28日	(水)	11:00	承認	審査	作成				
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事									
主	発生場所	H3,H4,H5,B,G6タンクエリア			2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16				
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員	TEL						
管	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/2/2	測定者	測定器名	ICW(B)	管理番号	F1-ICWBL-13				
G	No.	※カテゴリ			物量	測定場所		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③		霧囲気線量率	表面線量率				
	1	66コンテナ(ZK-00802)	B	01	D	B	6 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	$\beta$ 有	0.8 mSv/h
	2	66コンテナ(ZK-00828)	B	01	D	B	6 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	$\beta$ 有	0.8 mSv/h
	3	66コンテナ(ZK-00841)	B	01	D	B	6 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	$\beta$ 有	0.8 mSv/h
	4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>					
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0526
				2018/2/16
調整後保管日時		2018年2月28日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所		表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/減容可否	コンテナNo.	測定No.
				霧囲気線量率	線量率								
	1	1	6m3コンテナ(ZK-00802)	6	$\mu$ Sv/h	6	$\mu$ Sv/h	6	$\mu$ Sv/h	6	m <sup>3</sup>	ZK-00802	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-00828)	6	$\mu$ Sv/h	8	$\mu$ Sv/h	10	$\mu$ Sv/h	6	m <sup>3</sup>	ZK-00828	1
	3	1	6m3コンテナ(ZK-00841)	6	$\mu$ Sv/h	12	$\mu$ Sv/h	12	$\mu$ Sv/h	6	m <sup>3</sup>	ZK-00841	1
											m <sup>3</sup>		
											m <sup>3</sup>		

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
				01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-	
			②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013704 - 0028

作業 主 管 欄	保管希望日時	2018年2月28日	(水)	12:30	承認	審査	作成				
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	H3,H4,H5,B,G6タンクエリア			2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16				
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/2/2	測定者		測定器名	ICW(B)	管理番号	F1-ICWBL-13			
	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③						
	1	66コンテナ(ZK-00884)	A	02	D	B	6 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.004 mSv/h	$\beta$ 有	0.8 mSv/h
	2	66コンテナ(ZK-00885)	A	02	D	B	6 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.003 mSv/h	$\beta$ 有	0.8 mSv/h
	3	66コンテナ(ZK-00888)	A	02	D	B	6 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.003 mSv/h	$\beta$ 有	0.8 mSv/h
4						m <sup>3</sup>					
5						m <sup>3</sup>					
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0527
				2018/2/16
調整後保管日時		2018年2月28日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
				01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-	
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013803 - 0019

作業	保管希望日時	2018年2月27日	(火)	9:00	承認	審査	作成				
	作業件名	B南エリアエアータンク基礎他設置工事									
主	発生場所	Bエリア			2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16				
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL						
管	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者		測定器名	βγ用電離箱	管理番号	F1-ICWBL-133			
G	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
			①	②	③						
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	3 m <sup>3</sup>	0.008 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	0.2 mSv/h
	2						m <sup>3</sup>				
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>					
メモ	※No1については、今後コンテナ詰め予定										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0528
				2018/2/16
調整後保管日時		2018年2月27日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μSv/h	100	μSv/h	150	μSv/h						
	1	1	アスファルトガラ	5	μSv/h	100	μSv/h	150	μSv/h	エリアP2	2018/2/27 8:30	3 m <sup>3</sup>			1
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-	
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013803 - 0024

作業	保管希望日時	2018年2月27日	(火)	9:30	承認	審査	作成				
	作業件名	H3エアータンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
主	発生場所	Bエリア			2018/2/16	2018/2/15	2018/2/15				
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL						
管	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者		測定器名	βγ用電離箱	管理番号	F1-ICWBL-133			
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
		①	②	③							
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	0.2 mSv/h
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>					
メモ	※No1については、今後コンテナ詰め予定										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0529
				2018/2/16
調整後保管日時		2018年2月27日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μSv/h	80	μSv/h	120	μSv/h						
	1	1	アスファルトガラ	5	μSv/h	80	μSv/h	120	μSv/h	エリアP2	2018/2/27 9:05	3 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-		
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-		
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-			
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-			
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-			
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0019

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月27日		(火)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	B南エリアエアータンク基礎他設置工事									
主 管 G	発生場所	Bエリア			2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16				
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員			TEL			
元 請 会 社	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-133	
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	0.2 mSv/h
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>					
※No1については、今後コンテナ詰め予定											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0530
				2018/2/16
調整後保管日時		2018年2月27日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
		1	1	アスファルトガラ	5 μSv/h	150 μSv/h	200 μSv/h	エリアP2	2018/2/27 11:20	2 m <sup>2</sup>		
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※ カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	D			伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態		D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0024

作 業 主 管 欄	保管希望日時	2018年2月27日	(火)	11:30	承認	審査	作成			
	作業件名	H3エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
主 管 欄	発生場所	Bエリア			2018/2/16	2018/2/15	2018/2/15			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
G 記 入 欄	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者		測定器名	βγ用電離箱	管理番号 F1-ICWBL-133			
メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.1 mSv/h	β有 0.2 mSv/h
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
※No1については、今後コンテナ詰め予定										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0531
2018/2/16				
調整後保管日時		2018年2月27日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
		1	1	アスファルトガラ	5 μSv/h	120 μSv/h	180 μSv/h	エリアP2	2018/2/27 11:25	2 m <sup>2</sup>		
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※ カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	06	不燃物その他
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	—		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—			
	②	状 態	D: 乾燥, W: 湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0019

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	02	—	0532
				2018/2/16
調整後保管日時		2018年2月27日		12:30
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月27日		(火)	12:30	承認	審査	作成													
	作業件名	B南エリアエアータンク基礎他設置工事																			
	発生場所	Bエリア			2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16														
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL															
	元請会社				担当者	TEL															
線量測定年月日	2018/2/13	測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-133												
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率												
		①	②	③																	
		1	アスファルトガラ	B						09	D	A	3	m <sup>2</sup>	0.008	mSv/h	0.1	mSv/h	β有	0.2	mSv/h
		2																			
		3																			
		4																			
5																					
※No1については、今後コンテナ詰め予定																					

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ	5 μSv/h	80 μSv/h	120 μSv/h	エリアP2	2018/2/27 12:30	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	D			伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態		D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013803 - 0024

作業	保管希望日時	2018年2月27日	(火)	12:30	承認	審査	作成				
	作業件名	H3エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
主	発生場所	Bエリア			2018/2/16	2018/2/15	2018/2/15				
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL						
管	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者		測定器名	βγ用電離箱	管理番号	F1-ICWBL-133			
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率		
		①	②	③							
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	0.2 mSv/h
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>					
メモ	※No1については、今後コンテナ詰め予定										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	-	02	-	0533
				2018/2/16
調整後保管日時		2018年2月27日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μSv/h								
	1	1	アスファルトガラ	5	μSv/h	100 μSv/h	150 μSv/h	エリアP2	2018/2/27 12:35	3 m <sup>2</sup>			1
										m <sup>2</sup>			
										m <sup>2</sup>			
										m <sup>2</sup>			
										m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-		
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	-	14	-	15	-		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-		
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-			
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013803 - 0019

固体廃棄物管理G記入欄		受付
受付番号		
廃2018	— 02 —	0534
調整後保管日時		2018年2月28日 9:00
【保管時の指示事項等】		

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月28日	(水)	9:00	承認	審査	作成				
	作業件名	B南エリアエアータンク基礎他設置工事									
	発生場所	Bエリア			2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16				
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
線量測定年月日	2018/2/13	測定者			測定器名	βγ用電離箱	管理番号	F1-ICWBL-133			
メ モ	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率		
		①	②	③							
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	0.2 mSv/h
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					
※No1については、今後コンテナ詰め予定											

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μSv/h	200	μSv/h	280	μSv/h						
	1	1	アスファルトガラ	5	μSv/h	200	μSv/h	280	μSv/h	エリアP2	2018/2/28 8:45	3 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ

※カ テ ゴ リ	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。